

(様式2)

4	5	5	0	1
---	---	---	---	---

## 令和4年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和5年(2023年)3月13日

市立札幌清田高等学校

### ○ 教育方針

1 個性や多様性に寛容な心もち、世界と協働し、社会人貢献する国際的な視野を持たせる。(資質保証)
2 夢や希望の実現に向かって、自ら考え、自ら学び、探究させる。(学力保障)
3 自らの力で未来を切り拓く力を身に付けさせる。(進路保障)

### 1 本年度の重点目標

(資質保証)
1 生命を守る指導および規範意識を育む生徒指導の推進
2 自己肯定感・自己有用感を高める特別活動の推進
(学力保障)
3 生涯にわたって学び続けられる力の育成
(進路保障)
4 適正な進路指導の推進

### 2 本年度の経営方針(組織運営目標)

1 信頼される学校作り(情報発信、地域連携、社会に開かれた学校、学校評価アンケート)
2 学校経営参画意識の高揚、協働体制の確立(単位制、教育課程編成、国際理解教育推進)
3 教職員の資質向上(札幌市教育育成指標に基づく研修機会の確保、成果の還元)
4 働き方改革の推進(校内組織や担任・副担任業務の見直し、スクラップ&ビルド、ICTの利用)

### 4 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
資質保障	・学校は安全な場所として認知されているか ・規範意識をもって学校生活を送ることができているか ・学校生活に積極的に関わっているか	A	・学校がいじめなどの不安がない安心できる場所として認知されている ・悩み等に対する相談体制が校内にできており、生徒に周知されている ・決まりごとに対する意識が高く、生徒たちの規範意識は高い。 ・課外活動について限られた条件下ではあったが生徒たちは積極的に参加している。 ・学校行事は例年より規模は縮小しながらも生徒会を中心に実現でき、軒並み中止となった昨年度よりも活発に活動できた。	A	A
学校関係者評価委員による意見	・生徒のほとんどが学校を安心して過ごせる場所と感じていることを高く評価する。 ・いじめが発生しにくい学校であることが十分理解できた。 ・重要な項目なので生徒・保護者がアンケートで「まったく思わない(あまりも含む)」の回答が0%に近づくように、引き続き努力をお願いしたい。 ・いじめが少なく、生徒の相談体制が整備されていることは、安全・安心な高校生活を送るうえで大変重要であり、こうしたインフラの整備から高校の高い評価につながるのではないかと。				

(様式2)

学力保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意欲を育むための授業が行われているか</li> <li>・生徒の知的探求意欲を高める授業へ取り組んだか</li> <li>・課題探究的学習の実践研究に取り組めたか</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は工夫されており、分かりやすさを意識した内容になっているという生徒からの意見が増えている</li> <li>・カリキュラムについては過渡期であるが、単位制の年次への周知はうまくできていると思われる</li> <li>・課題探究的な学びの実践について、感染症下の中で可能な範囲で協働的な学びを展開していることに対して、生徒の期待が高いことがわかる。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒が「授業はわかりやすく工夫されている」と感じていることを高く評価する。一方で前年度から比較すると、「あまり思わない・全く思わない」がわずかながら増加傾向にあるので、今後の改善を期待します。</li> <li>・単位制をふまえたカリキュラムに対応した授業の工夫点が随所に感じ取れた。</li> <li>・ここ2～3年がカリキュラム変更等の過渡期と思うが、引き続き「生徒がわかる授業」「力が身に付く授業」の実践をお願いしたい。</li> <li>・課題探究を重視した学びは、高校卒業後の進路選択にも大きく影響すると思うので、課題の設定等について教員の知恵を出し合い、工夫しながら取り組んでほしい。</li> </ul>			
進路保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者に対して面談や講習は十分に実施されたか</li> <li>・進路実現に向けての講習や模擬試験は十分に行われたか</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対しての面談や企画は充実しているが、保護者向けの講演会等については今後検討の余地がある。</li> <li>・進路対策のための講習や模擬試験は充分に行われている。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの生徒・保護者が「支援は十分に行われている」と感じていることを高く評価する。一方で、改善の方策の1点目について、来年度は令和3年度・4年度の自己評価における反省を生かし、保護者向けの講演会などについて改善を期待する。</li> <li>・進路に対するサポートについて、保護者および生徒が学校側に満足していることを感じ取れた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症によりやむを得ない状況であったことと思うが、また保護者への説明など、積極的に取り組んでいただきたい。</li> </ul>			
改革推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育は推進されているか</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育への生徒の関心や意欲が年々高くなってきている。</li> <li>・各教科の授業の中で積極的に国際理解の取組を取り入れてきている。</li> <li>・学校外に対する清田高校の国際理解教育を周知する工夫が充実している。</li> </ul>	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解教育への生徒や保護者の関心が高まっていることがうかがえる。一方で、教職員が国際理解教育を取り入れているかの設問について「あまり取り入れていない」が大きく増加しているので、今後の改善を期待する。</li> <li>・清田高校の特色が随所に感じ取れた。</li> <li>・オンラインの活用など、幅広い学びの提供を期待する。</li> <li>・生徒のアンケート結果は概ね良いが、教員の取り組みが追い付いていないように思う。校長先生をはじめとしたマネージャーが組織への理解浸透をもっと積極的に進める必要があるのではないかと。</li> </ul>			